

令和3年度

保育士の自己評価結果

調査期間：3月4日(金)～3月13日(日)

調査方法：Googleフォーム

調査対象者：正規保育士全員（11名）

回答率：90.9%(10名/11名)

社会福祉法人 恩恵会 けやきの森保育園

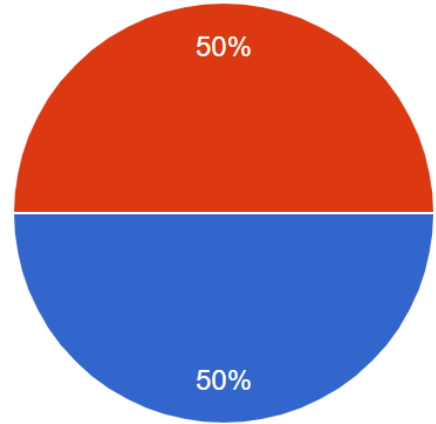
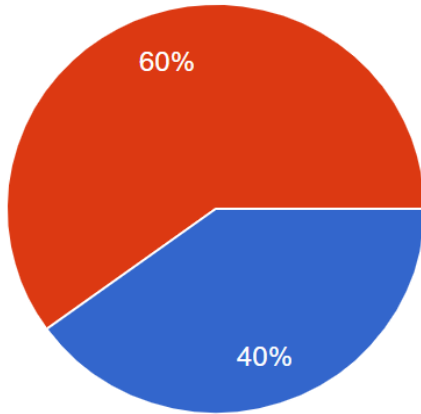
■ おおむね達成できている

■ 達成に向けて取り組んでいるが、
まだ課題が残る

■ 成果が不十分である

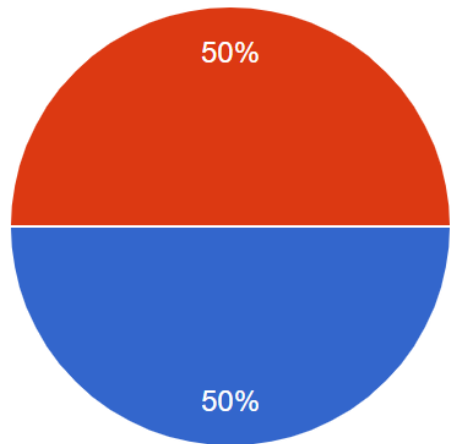
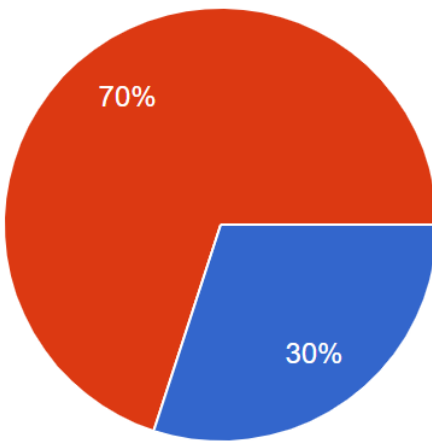
園の保育方針を理解して実践しようと努めているか

子どもの姿を的確に捉え、保育に必要な記録資料などの
作成と活用を効果的に行っているか。
※事務作業のない保育士は、作成された資料を確認・共有し、
フォローができていますか



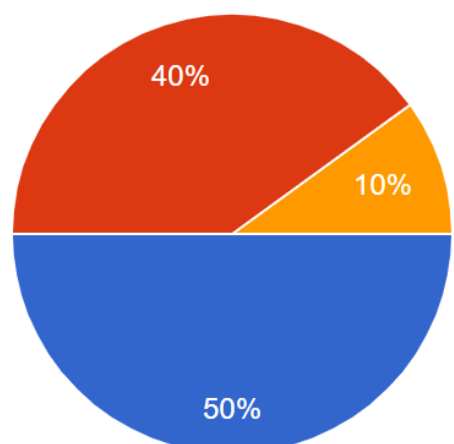
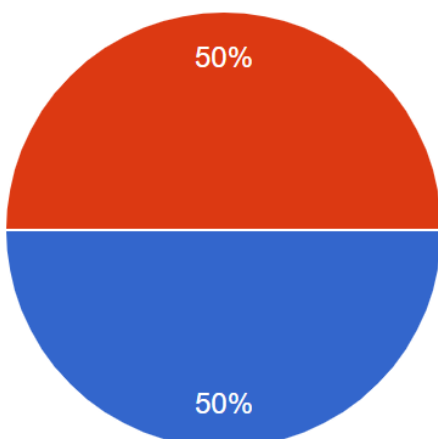
計画立案に基づいた保育、クラス運営をしているか。
※計画立案していない保育士は、担任保育士や全体を
見てフォローができるよう意識しているか

日々の反省を活かした計画立案や保育実践が
なされているか。
※上記該当しない保育士は、計画立案した保育士と
情報共有を図り、フォローができていますか。

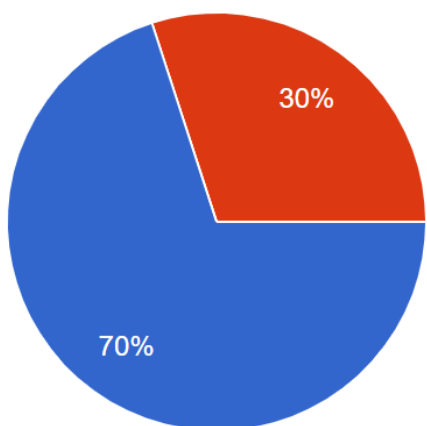


子ども一人ひとりの目標と課題を明確にし、
見通しを持ってかかわっているか。

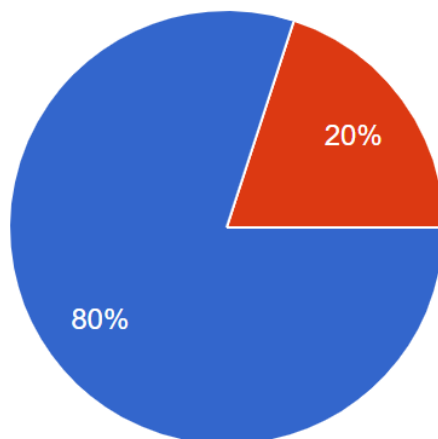
子どもの発達を促すための環境作りやかかわりを
心がけているか。



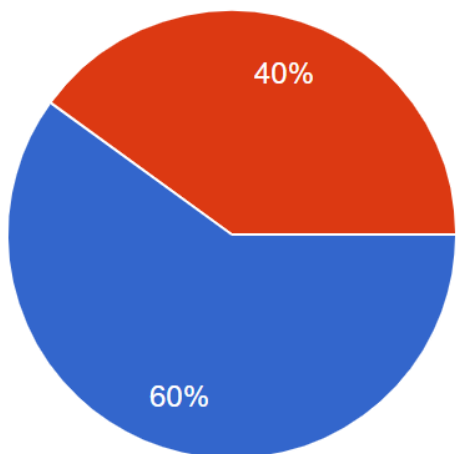
子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境作りや援助を行っているか。



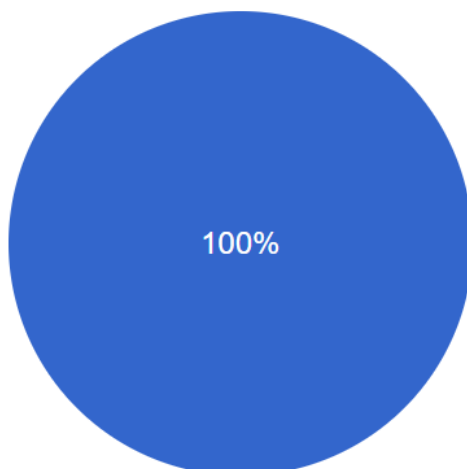
玩具や遊具の安全確認・消毒及び掃除・整理整頓に努めているか。



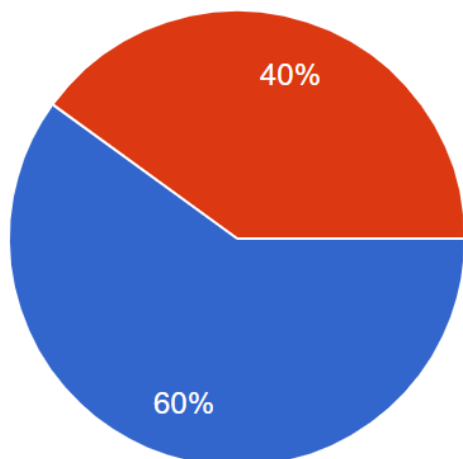
子ども達の手本となるような言葉づかいや立ち振る舞いを心がけているか。



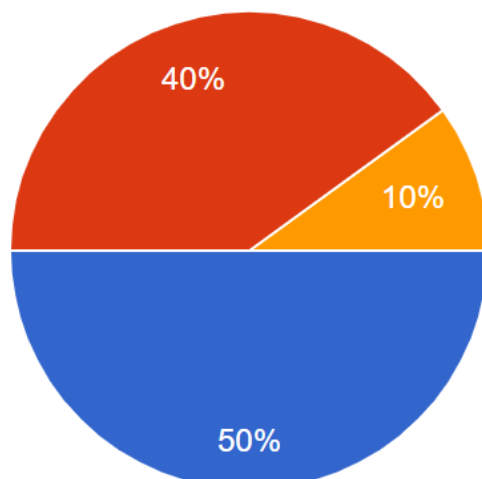
園内外保育における人数確認及び安全確認ができていますか。



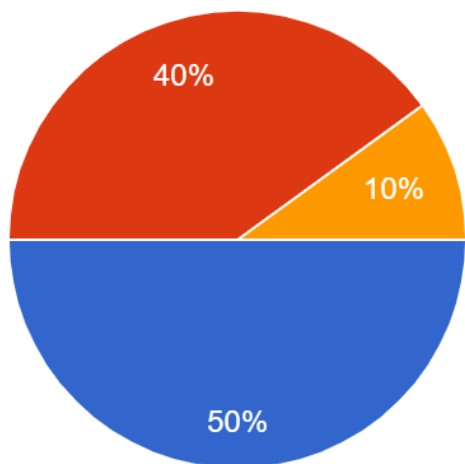
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣等、総合的に多面的に子どもの状態を把握しているか。



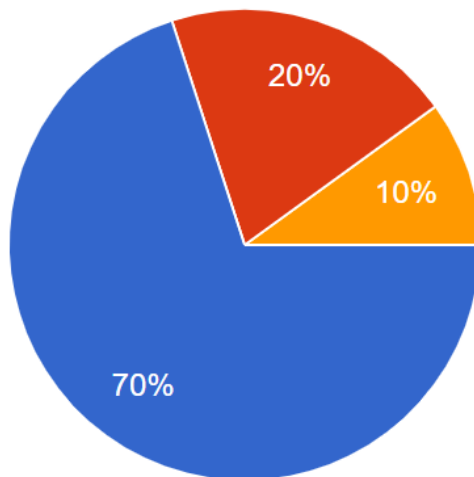
施設的环境維持向上に努め、安全対策の共通理解や体制づくりに努めているか。



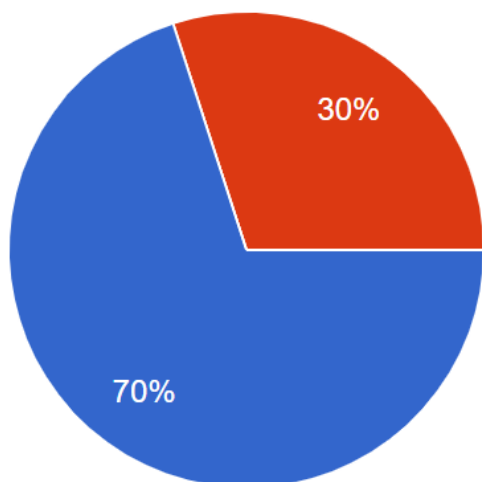
食育の計画を作成し、日々の保育の中で子どもの「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培わなければならないことを理解しているか。



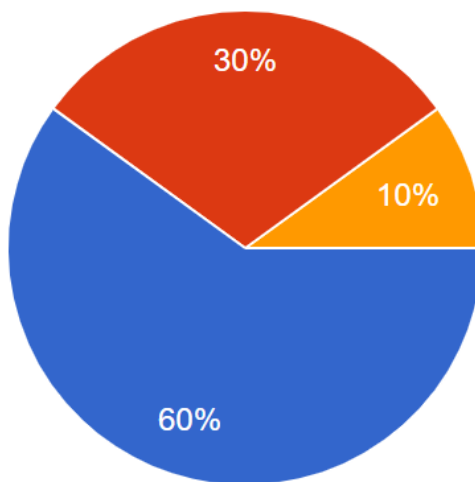
行事の種類や実施回数は適切に行われているか



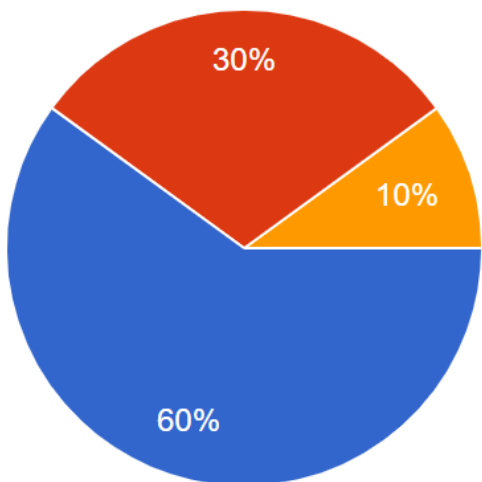
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。



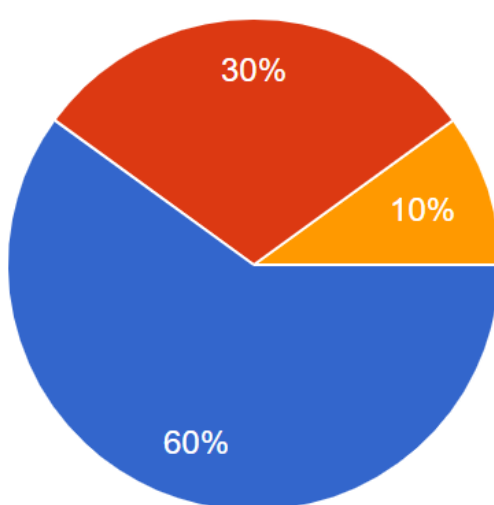
好感の持てる態度で保護者や見学者・来客等に明るく丁寧な対応ができていますか



保護者等の話をよく聞くなど、コミュニケーションをとり、安心して相談できる関係作りに努力しているか。

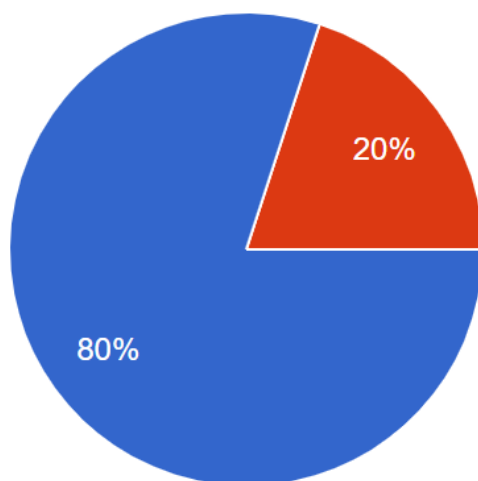
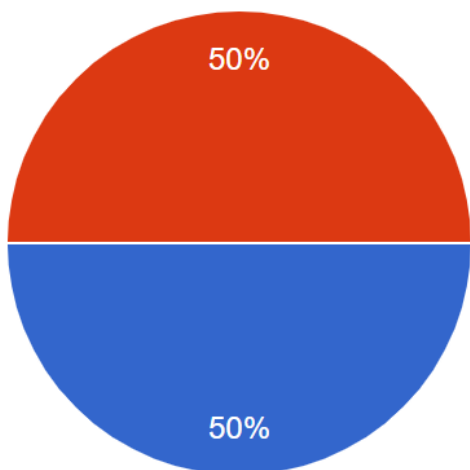


保護者に対し、子どもの様子を分かりやすく伝えているか。



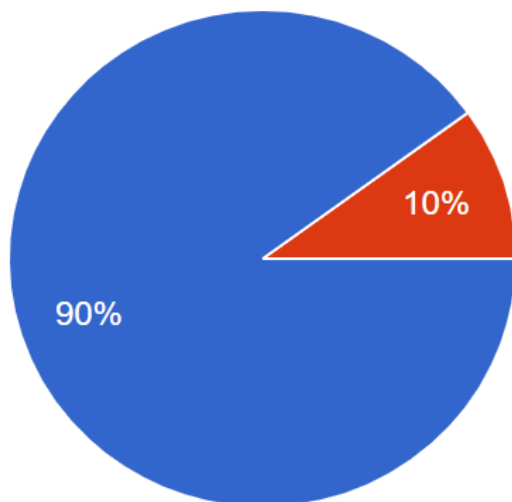
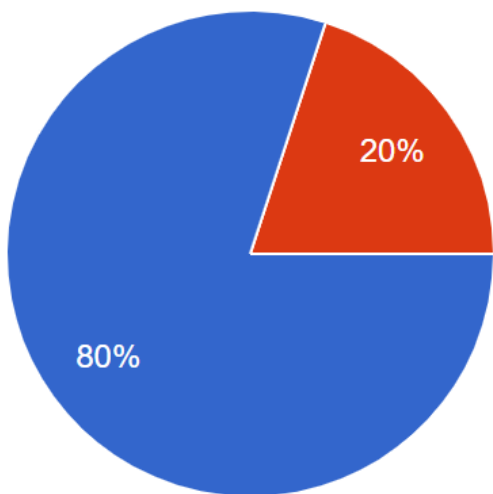
必要な情報を収集し、自分の実践に活かしているか。

上司や先輩の指導・助言を受け入れ、実践しているか。



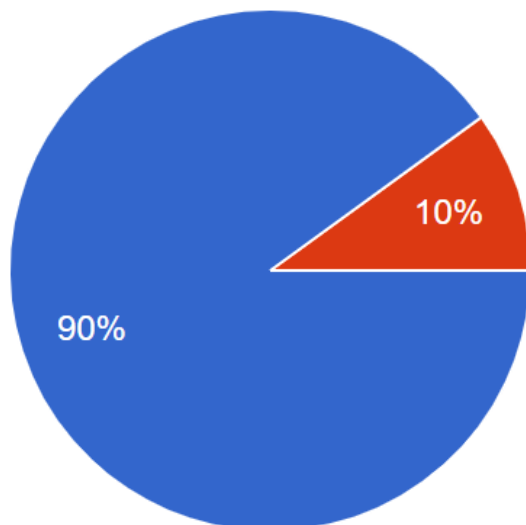
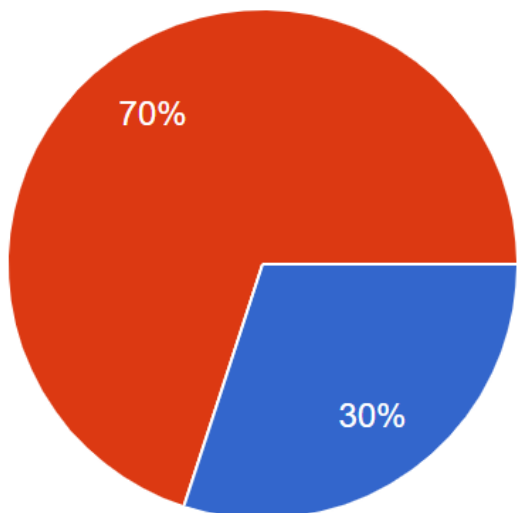
組織の規則や手続き、職場のルールを守って職務に取り組んでいるか。

服装や身だしなみを整え、丁寧で礼儀正しい対応をしているか。

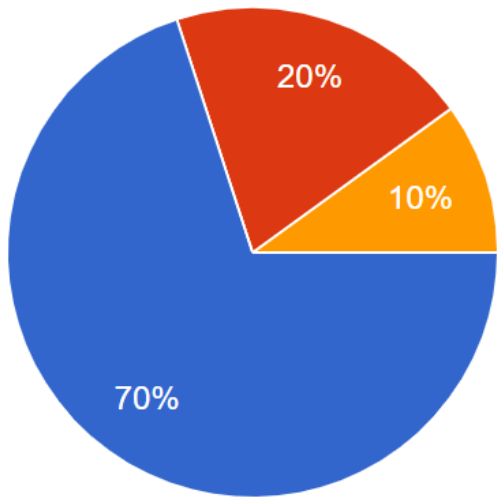


職員間の必要な連絡・連携・報告はとれているか。

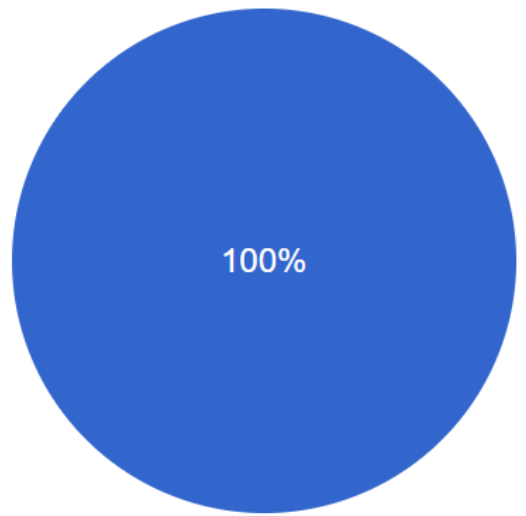
与えられた仕事(日常・行事・雑用等)はきちんとできているか。(正確さ・提出期限)



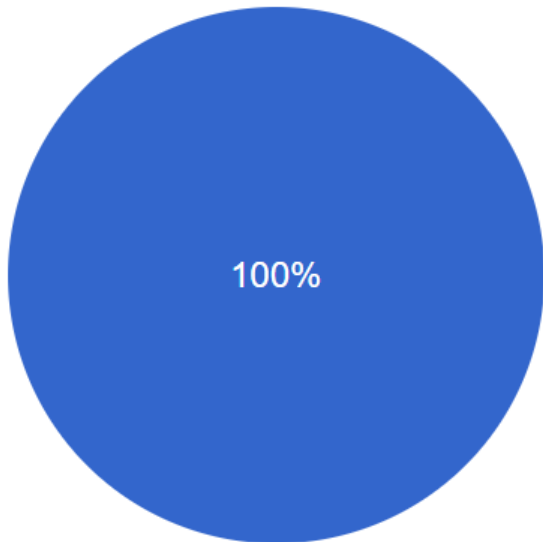
組織の一員である事を自覚し、周りの仕事にも自主的に協力しているか。



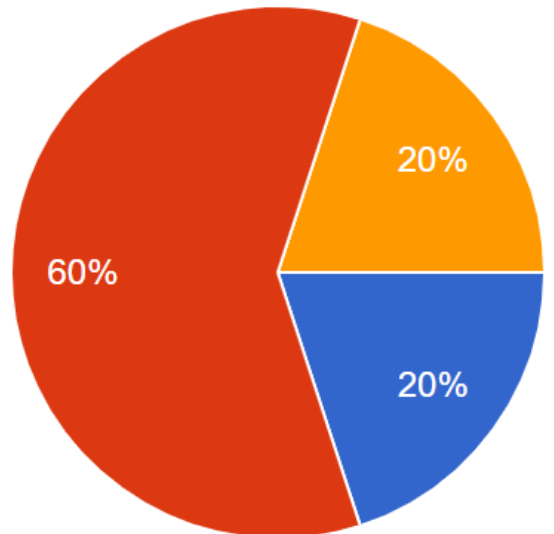
自己の体調を管理し、他の職員に迷惑がかからないよう努めているか。



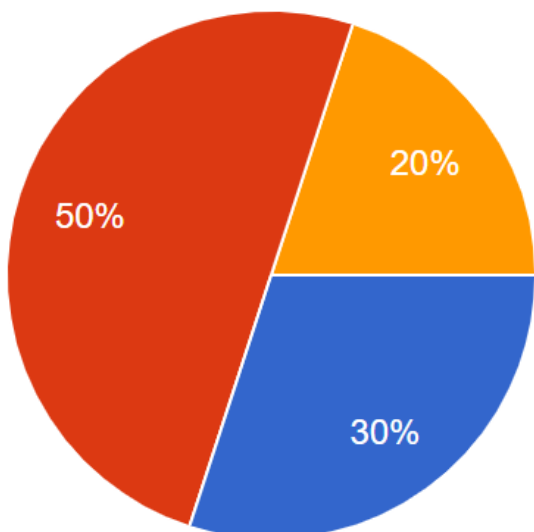
職務上、知り得た情報の守秘義務の遵守し、子どもの人権に留意しているか。



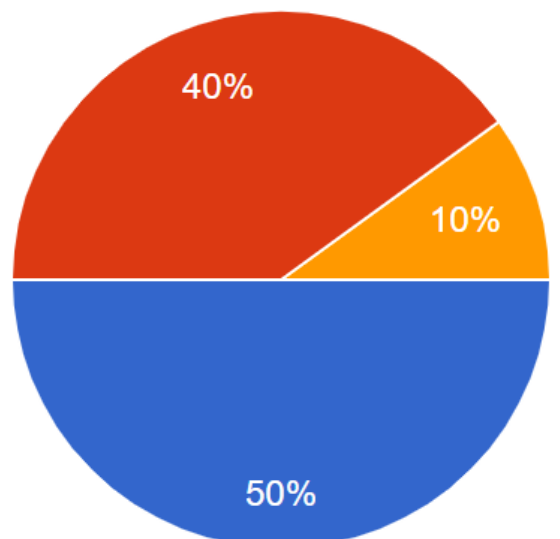
問題意識を持ち、専門書を読んだり情報を収集したりして、自己の保育力の向上に努めているか。



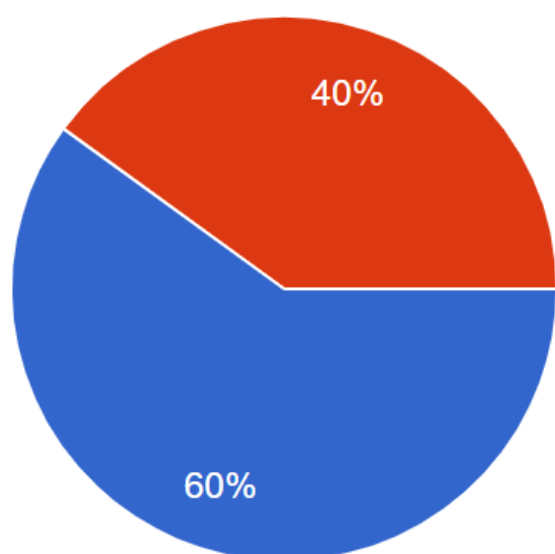
積極的に研修や講習に参加する等、保育について何らかの自己啓発(自己研鑽)に取り組んでいるか。



新しい仕事や困難な仕事にも、失敗を恐れず、前向きに取り組んでいるか。



保育園だより、クラスだより、食育だより、保健だより、
地域だより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。



より良い保育園にしていくために今後どのように改善していけばよいか。

- ・先輩、後輩どちらに対しても、気遣いは必要だが顔色や機嫌を、必要以上に不安に思わず、発言出来る人間関係や環境作りを行って行くことが大切になっていくと思います。
- ・生活スタイル、環境、能力、発達、考え方等いろいろなことが変わってきている。いままでの「けやき」も大切にしながら、今できる、「けやき」を作っていければ良いと思います。
- ・保育士同士の共通理解に話し合いが必要なが、現在コロナ感染対策により時間が限られ1人1人の、意見交換が、できているかが不安である。子どもの成長において、保育士の意識向上が、必要ではないか。と思う。
- ・職員間の連携をより深くしていく。子ども・保護者への対応・保育についてお互い情報交換や意見交換、職員同士気軽に相談できるような雰囲気づくりを心掛け、質の高い保育を目指していきたい。
- ・職員全体の関わり合いで、もっと和気藹々さ？日頃のコミュニケーション？があれば、多方面でもよりよくことを進められるのではないかと思う。
仕事の仕方は人によるが、勤務時間も限られている今、皆が素早く的確に物事を進められるように、お互い気軽に助け合えるような関係性が作れば良いのではと思う。
- ・職員間での話し合いの機会を多く持ち、情報を共有したり、改善すべき点など意見を伝え合ったりすることが必要だと思います。保育の質を上げ、子ども達がより安心して過ごすことができるよう、研修に参加したり、自分自身の保育を振り返ったりすることが大切だと考えます。